



てくてく

福井大学教育学部附属特別支援学校 教育相談部

2026. 1. 27 (火) 発行

福井県福井市ハツ島町 1-3

TEL 0776-22-6781 FAX 0776-22-6776

<http://www.f-edu.u-fukui.ac.jp/~f-tokusi/>

「てくてく」は、附属特別支援学校が行った交流及び共同学習を紹介する情報紙です。令和7年度も、居住地校交流や学校間交流、制作や販売を通じた交流などの様々な交流を行い、いろいろな人たちとの関わりの中で学びを深めることができました。各学部の取組についてご紹介します。

小学部

居住地校交流

今年度の小学部は、11名の児童が居住地校交流を行いました。個々のニーズに応じて、通常の学級や特別支援学級と交流しました。普段と違う環境の中で少し緊張した児童もいたようですが、いろいろな友達と一緒に活動し関わることができました。

★Aさんの居住地校交流の様子★

Aさんは、同じ学年の通常学級と交流しました。玄関でクラスの児童に迎えられ、「久しぶり!」と声を掛けられるとうれしそうな表情と声で応えていました。

図画工作の授業では、折り紙やマスキングテープをちぎって貼り、冬にちなんだモザイクアートづくりをしました。初めは少し緊張していましたが、同じグループの児童に誘われるうちに、制作に興味を持って取り組むことができました。

「どんな色が好き?」「この模様はどう?」と質問や提案をして、Aさんの好きなものを分かろうとする児童の温かな関わりが印象的でした。

授業の最後には、みんなで集合写真を撮りました。どの児童もAさんと楽しく関わったことが伝わるような、満面の笑みの写真を撮ることができました。お別れの際にも、みんなが玄関まで送り出しに来てくれて、「また会おうね。」と声を掛けたり、ハイタッチをしたりして別れを惜しみました。その日、本校で交流の写真を見せて振り返ると、Aさんはうれしそうな笑みを浮かべていました。



小学部 居住地校交流 相手校

明新小学校 順化小学校 社北小学校 東藤島小学校

中藤小学校 木部小学校 高椋小学校 木田小学校

福井大学教育学部附属幼稚園との交流

11月5日(水)に附属幼稚園の4歳児の皆さんを招待しました。玄関で「おはようございます!」「靴はこちらどうぞ。」と、出迎えました。

初めにベイベーシャークや、ハイタッチ体操などダンスをしました。ハイタッチ体操では、お互いに少し緊張しながらハイタッチを行っており、ほほえましかったです。次に、小学部教室で、クラス遊びを一緒に行いました。1組ではボールプール、2組では新聞紙遊びをして友達や教師と思いきりかけ合いました。また、遊戯室では、3組のドライブスルーごっこや魚釣りをして遊びました。楽しい時間はあっという間でした。



中学部

居住地校交流

中学部では、4名の生徒が居住地の中学校で交流を行いました。それぞれの学校の生徒の興味関心やニーズに合わせて、制作活動や季節の行事、ゲームなどを一緒に楽しみました。

Bさんは、特別支援学級と交流しました。はじめに、本校の学校祭の様子を紹介しました。ダンスや歌を發表している動画を見てもらい、Bさんはうれしそうな表情を見せていました。次に、お茶会が行われました。クイズでお茶のことを学んだ後、友達と互いに点てた抹茶とお菓子をいただきました。Bさんはお茶会が心に残ったようで、後日、本校でも同じようにお茶会を行い、中学部の友達と楽しみました。



Cさんは、本校で取り組んだ保冷剤を使った消臭剤づくりの活動を、特別支援学級の友達と一緒にに行いました。作り方をみんなの前で教え、同じテーブルで制作活動を楽しみました。完成した消臭剤を並べ、どんなイメージで制作したか話したり、「いいね。」「色がきれいだね。」と、お互いに褒め合ったりしました。

Dさんは、特別支援学級と交流を行いました。小学校・中学校合同のクリスマス会に向けて、みんなで一緒に魚つりゲームを作りました。クリスマス会にも招待してもらい、クイズや魚つりゲーム、ボール投げゲームなどを楽しみました。



Eさんは、本校で取り組んでいる「封筒づくり」の活動を特別支援学級で行いました。学校で「丁寧に作る」ことを目標に練習してから交流に臨みました。地域の友達や先輩、後輩と久しぶりの再会を喜び、和やかな雰囲気の中で活動に取り組みました。

中学部 居住地校交流 相手校

光陽中学校 藤島中学校 足羽中学校 灯明寺中学校

ギャラリー「AOW舎」での作品展示



春休みに、永平寺町にある私設ギャラリー「AOW舎（あおうや）」で、中学部の作品展を行いました。中学部の生徒が「ゆうゆうタイム」の時間に制作した、貼り絵や焼き物、オブジェなどの作品を展示しました。保護者や地域の方がギャラリーに足を運び、「素敵な作品ですね。」などといったコメントを寄せてくださいました。また、中学部の生徒も校外学習として作品展を見に行きました。自分や友達の作品を見て、これからの「ゆうゆうタイム」で作りたいもののイメージを膨らませていました。

全学部

日新公民館まつりでの展示

10月19日(日)に、日新公民館まつりが開催されました。地域との交流を図り、本校の教育活動を地域の方たちに知ってもらうために、今年度も日新公民館の一角に全学部の作品を展示しました。小学部からはカブトの作品、中学部からは学校祭で活躍したおみこしを展示しました。そして、高等部からは、校歌歌詞アートの額と焼き物で制作した飯椀を展示しました。ダイナミックな作品に来場者から感動の声が上がっていました。



高等部

福井大学教育学部附属義務教育学校後期課程との交流（紙と刷り班）

9月25日（木）に福井大学教育学部附属義務教育学校後期課程へ体育祭で使う賞状を届けに行きました。その賞状は、紙と刷り班が牛乳パックから紙を漉いて、印刷して作ったものです。

後期課程へ紙と刷り班のみんなで賞状を届けに行き、体育委員会の皆さんに直接手渡すことができました。毎年、紙と刷り班で作った賞状を使ってもらっていますが、牛乳パックを使って手作りしている賞状であることや紙と刷り班で作っていることなどは、あまり知られていないようでした。紙と刷り班の生徒からは「今度は、どうやって賞状を作っているのか見てもらいたいね。」「動画を送ったらどうかな。」という声が聞かれました。次の交流につなげていけたらと思います。

また、後期課程の校舎内を後期課程の先生に案内してもらいました。特に、理科室の設備や実験道具、ステージが自動で出てくる体育館などに興味津々でした。



現場実習報告会 ～藤島中学校特別支援学級の皆さんを招待して～

12月3日（水）に、現場実習報告会を行いました。生活1班、2班の報告会には、藤島中学校特別支援学級の先生や生徒の皆さんに来てもらいました。現場実習で学んだことや中学生へのアドバイスなどを盛り込んだスライドや動画を使って発表したり、自分たちで考え、準備した体験をしてもらったりしました。最初は、お互いに少し緊張した雰囲気がありましたが、藤島中学校の皆さんからいろいろな感想や質問も出て、和やかな雰囲気の実習報告会となりました。



ワークフェア

9月23日（火・祝）にショッピングシティ・ベルにて、ワークフェアが開催されました。ワークフェアは、福井市障がい者就労支援事業所合同説明会と合わせて開催されました。夏休み明けから、全員で協力して製品の準備を進めました。当日は、本校の生徒や保護者の方、他学部の友達、本校を卒業した先輩方、事業所の方などたくさんの方が足を運んでくださいました。また、一般の多くのお客さんとも触れ合う機会となり、商品を手に取り、上手に作ることができていると褒めていただきました。生徒たちは笑顔で、お客さんに商品の使い方を説明したり、製品を丁寧に包んで渡したりすることができていました。



福井南特別支援学校窯業班との交流（焼き物班）

毎年恒例の福井南特別支援学校の窯業班との技術交流会が行われました。12月1日（月）にオンラインでの顔合わせをし、12月11日（木）、18日（木）にはお互いの学校を訪問しました。絵付けや機械ろくろでの成形を互いに教え合いました。初めは緊張していた様子でしたが、少しずつ緊張もほぐれ、「〇〇を取りに行きます。ついて来てください。」「上手ですね。」などと自分から話しかけていました。このような教え合う体験は、生徒一人一人が自分で考え行動するきっかけとなっていると感じました。また、お互いの学校を知る良い機会にもなりました。

くにみクラゲ公民館との交流（紙と刷り班）

昨年度に引き続き、今年度もくにみクラゲ公民館で紙と刷り班の製品を販売することになりました。5月に新たな製品開発のヒントを得るため、くにみクラゲ公民館を訪問しました。6月には館長の田中さんが学校に来てくださり、同館でどのような商品が売れているのか、どのようなお客さんが購入しているのか、そしてお客さんの気持ちを考えた製品づくりの大切さについてなど、様々なお話を伺いました。その後は、クラゲや海の生き物をデザインしたノートや封筒といった定番製品に加え、紙ファイルやマグネット、水引きを使ったブックマーカーなどの新しい製品づくりにも挑戦し、みんなで納品に行きました。見本があり、実用的で使い道が分かりやすいものが、早く売れていたようです。また、観光で訪れた外国の方にも気に入っていたき、購入してくださったとのことでした。今後、再度納品を行う予定です。くにみクラゲ公民館にお越しの際は、紙と刷り班の製品もぜひご覧ください。



福井大学出張虹の市（紙と刷り班）



「福井大学と交流がしたい。」という生徒の思いから、今年度は福井大学文京キャンパスの教育学部にて、出張虹の市を行いました。最初はなかなかお客さんが立ち止まってくれず、普段の虹の市とは違う難しい状況でした。しかし、足を止めてくれた学生さんや職員さんに笑顔で接客したり、おすすめの製品を伝えたりして元気に販売活動ができました。また、通りかかった学生さんに呼びかけるなど、いつもの生徒たちとは違った積極的な様子が見られました。その成果もあり、売り上げは上々で、初めての大学での販売は、生徒たちにとって満足いく結果となりました。思うようにいかない経験も今後の商品開発や販売の工夫を考えていくための良い経験になったのではないかと感じます。

また、昼食は学生食堂で取りました。生徒たちは好きなメニューやデザートを組み合わせて、初めての体験にわくわくしながら美味しい学食を味わっていました。